

木曾調 だより

東海三県の農業農村整備を伝える情報誌

2025
MAKE THE MOST OF
WATER
——水を活かす——
No.46



“VIVA! 東海アグリング” については、最後のページをご覧ください。!

- 巻頭言 木曾川水系土地改良調査管理事務所長 植田康成
- 東海農政局の国営事業地区一覧
- 令和7年度 調査計画地区の概要
- 国営施設機能保全事業「尾張西部地区」
- 土地改良法の改正の内容、連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定
- 東海農政局管内の水利施設における「自然災害」に対する備え、観測情報の活用・管理
- 国営総合農地開発事業「青蓮寺地区」における農地利用状況把握のための活動支援
- 統計部寄稿 ～図でわかる東海3県の農林水産業（市町村別農業産出額）

東海農政局 木曽川水系土地改良調査管理事務所長
植田 康成



平素より、東海農政局木曽川水系土地改良調査管理事務所の業務にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。とりわけ、当事務所職員が行う各種調査や計画の策定等に際し、地域の皆様や関係機関の皆様には多大なるご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。また、国民の食料への関心が一層高まる中、各地域における農政の推進、農業水利施設の維持管理や配水操作など、皆様の日々のご尽力に心より敬意を表します。

さて、昨年5月に「食料・農業・農村基本法」が改正されました。それを受けて本年3月には「土地改良法」も改正され、4月に施行されました。今回の土地改良法改正は、農業水利施設等の老朽化の進行、農村地域の人口減少と集落機能の低下、気候変動による災害リスクの増大といった地域が直面する課題に対応する内容となっています。具体的には、農業者の申請によらず、国又は都道府県の発意により基幹的な農業水利施設の更新事業を可能とすること、土地改良区が市町村等の関係者と連携して「連携管理保全計画（通称：水土里ビジョン）」を作成し、土地改良施設と末端施設の保全を行う仕組みの創設や、災害の未然防止を目的とした老朽化施設の補強などの事業が新たに措置されました。

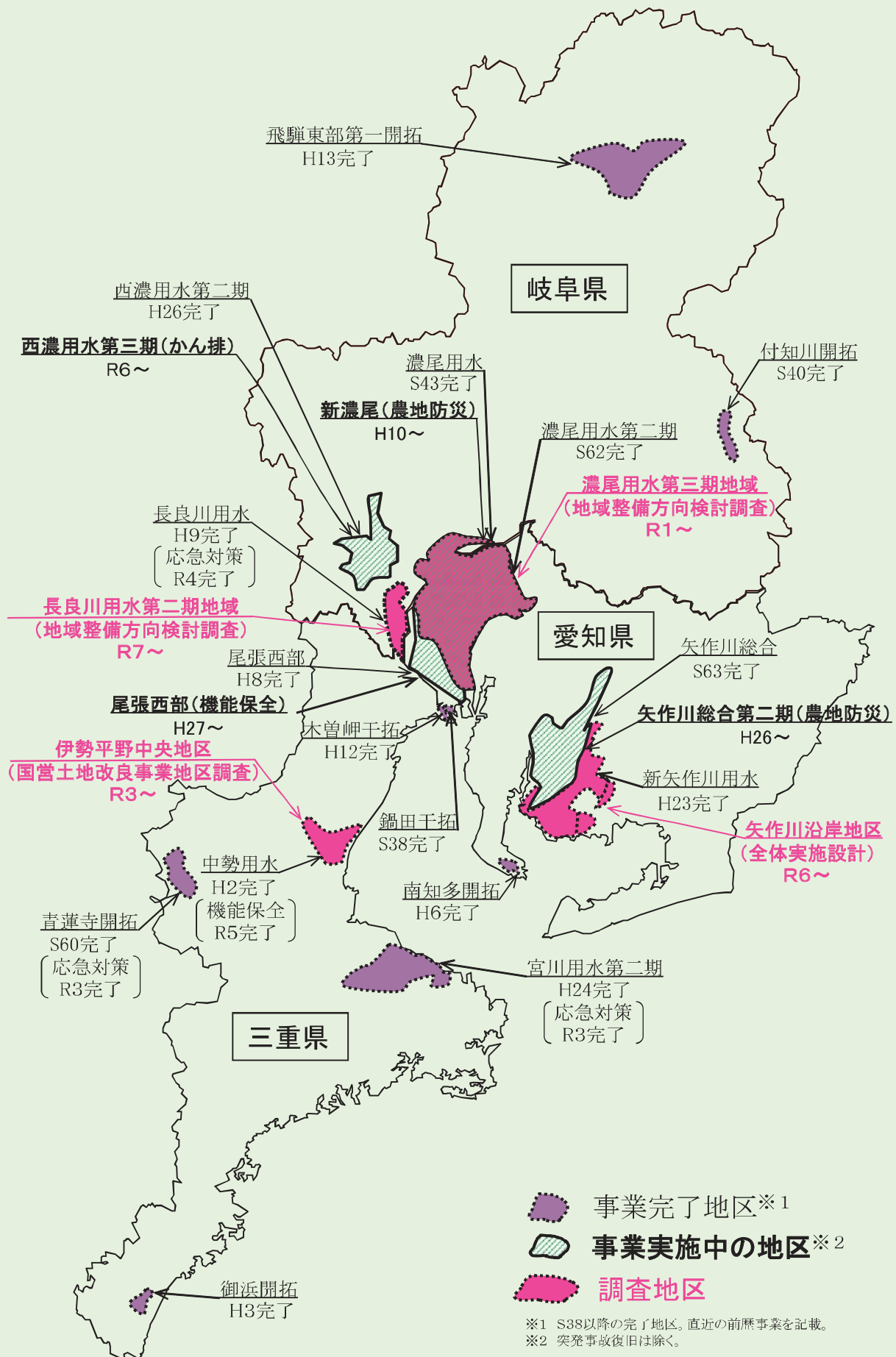
本年4月以降、東海三県の国営事業完了地区及び（独）水資源機構が管理等を行う各地区を訪問して話を伺っております。どの地区においても、歴史ある大規模農業生産基地として、地域の特徴を活かした農業が営まれており、国民への食料安定供給等に貢献するのみならず、地域の文化継承や発展に重要な役割を果たしています。

一方で、農業水利施設の老朽化や都市化の進行等に伴う突発事故のリスク、農地転用の増加や土地改良区組合員の減少による維持管理体制の脆弱化といった共通の課題が顕在化しています。さらに、現地の農業者・生活者からは、気候変動に伴う品種転換への対応、かんがい用水の確保、農繁期の労働力不足、農地の荒廃化、鳥獣被害など、営農や地域生活の継続に関する多様な地域の課題についてのご意見を伺っています。

当事務所といたしましても、こうした農業・農村の実情や課題を広く把握・認識し、今後も引き続き関係機関の皆様の貴重なご意見や知見を頂きながら、土地改良事業の調査・計画等の業務に誠実に取り組んでまいります。土地改良事業に限らず、各地域が直面している様々な課題についても、必要に応じた情報収集・提供に可能な限り努め、現場に寄り添った支援を行っていきたいと考えています。

結びに、皆様におかれましては、今後とも地域農業の持続的な発展と豊かな農業・農村の構築に向け、変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。木曽川水系土地改良調査管理事務所一同、関係者の皆様とともに力を合わせ、地域の未来を見据えた取組を進めてまいります。

東海農政局の国営事業地区一覧



1 地域整備方向検討調査について

国営土地改良事業の実施が見込まれる地域において、農業水利施設の利用や管理、地域内の営農や土地利用、農業水利施設周辺の自然環境等に関する現況調査を行い、地域の課題を把握します。

また、把握した現況や課題を踏まえ、国営事業実施地区の範囲を概定したうえで、整備構想の策定、事業費・事業効果の概略算定、地元意向の確認を行い、「国営地区調査」実施の可能性を検討します。

(1)「長良川用水第二期地域」の実施状況

本地域は、岐阜県の南西部に位置し、長良川と揖斐川に囲まれた輪中地帯に位置する農業地帯です。本地域の用排水機場や水路等の基幹的な農業水利施設は、老朽化により、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な労力と費用を要しています。

また、近年、気候変動に伴い集中豪雨等による災害のリスクが高まっているため、これらの地域の実情を踏まえ、本年度は、整備構想の策定に関する調査を行っています。



(2)「濃尾用水第三期地域」の実施状況

本地域は、木曽川両岸に広がる濃尾平野中央に位置する都市近郊農業地帯です。本地域の基幹的な用水路は、老朽化により、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、維持管理に多大な労力と費用を要しています。

また、木曽川にかかる犬山頭首工や市街地を流下している用水路において、大規模地震が発生した場合に周辺地域への被害が懸念されているため、これらの地域の実情を踏まえ、本年度は、整備構想の策定に関する調査を行っています。



2 国営地区調査について

国営土地改良事業の実施予定地区において、事業実施の必要性、技術的可能性、経済的妥当性等について、検討するための必要な調査を行い、事業計画書（案）を作成します。

「伊勢平野中央地区」の実施状況

本地区は、三重県中央部に位置する農業地帯です。本地区の基幹的な農業水利施設である安濃ダムでは、近年の豪雨の増加や流域の森林の荒廃などの他動的要因によりダム貯水池内への土砂流入量が急激に増大し、計画堆砂量を大きく上回る堆砂が生じています。それに伴い、ダムの貯水機能が低下し、用水の安定供給への影響が生じているため、ダム貯水池内の堆砂除去等に向けて、各種調査や技術的可能性の検討等を行っています。



3 全体実施設計について

国営地区調査で作成された事業計画書（案）のうち、工事計画に係る詳細な設計を行い、事業実施に向け、総事業費を算定します。

「矢作川沿岸地区」の実施状況

本地区は、矢作川中下流部に位置する農業地帯です。本地区の基幹的な農業水利施設である羽布ダム、頭首工、幹線水路等は、経年的な老朽化や大規模地震の発生を想定した耐震化の検討が必要であることから、「国営地区調査」の中で各種調査や技術的可能性の検討を進めてきました。

令和6年度からは、「全体実施設計」にステップアップし、事業実施に向けた設計に着手しています。

